

PRIMAVERA HEATING CABLE

プリマヴェーラヒーティングケーブル



用途

玄関、風呂洗い場、サウナ等
食堂、事務所、倉庫等の土間
ホテル、ペンション、旅館、幼稚園
学校、病院等の土間
マンションバルコニー
土間コンクリートの融雪用

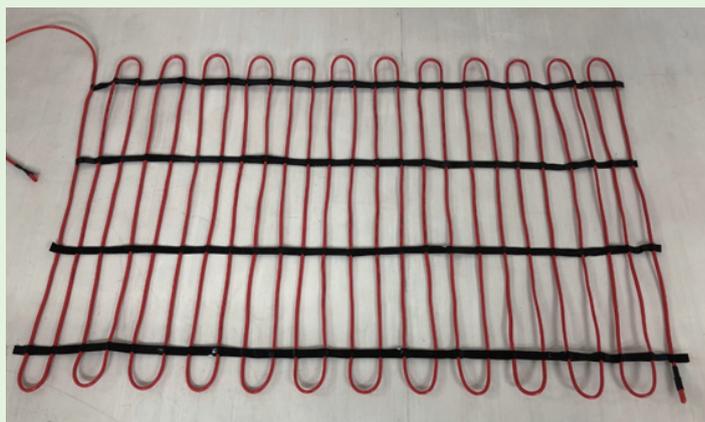
特徴

安全性 難燃性の被覆材使用
環境 排気ガス無し、環境にやさしい
健康 遠赤外線による健康増進
経済性 メンテナンスフリー、リーズナブルな電気代
耐久性 発熱線の材料は半永久的使用可能
施工性 コンクリート施工前に簡単にセットするだけ

入浴時の洗場のヒートショック防止。
湿式タイプなので安心してお使いいただけます。



ヒーティングケーブル



ヒーティングケーブルユニット

◆ヒータケーブルユニット仕様

磁気対策型、高耐熱型（105℃）、定格電圧：単相 200V

延長種別は 8 種類、それぞれ 200、250、300W/㎡ 幅 1m 型、及び現場合わせのフリー配線型があります。

ピッチ	発熱量	型番	延長(m)	電気容量(W)	敷設面積(㎡)
74mm	200W/㎡	CH0016_200	16.67	248	1.3 ㎡
		CH0027_200	27.78	413	2.1 ㎡
		CH0038_200	38.89	578	2.9 ㎡
		CH0055_200	55.56	826	4.2 ㎡
		CH0075_200	75.00	1,115	5.6 ㎡
		CH0097_200	97.22	1,446	7.3 ㎡
		CH0119_200	119.44	1,776	9.0 ㎡
		CH0138_200	138.89	2,065	10.5 ㎡
60mm	250W/㎡	CH0016-250	16.67	248	1.0 ㎡
		CH0027_250	27.78	413	1.7 ㎡
		CH0038_250	38.89	578	2.4 ㎡
		CH0055_250	55.56	826	3.4 ㎡
		CH0075_250	75.00	1,115	4.6 ㎡
		CH0097_250	97.22	1,446	6.0 ㎡
		CH0119_250	119.44	1,776	7.4 ㎡
		CH0138_250	138.89	2,065	8.6 ㎡
50mm	300W/㎡	CH0016_300	16.67	248	0.9 ㎡
		CH0027_300	27.78	413	1.4 ㎡
		CH0038_300	38.89	578	2.0 ㎡
		CH0055_300	55.56	826	2.9 ㎡
		CH0075_300	75.00	1,115	3.9 ㎡
		CH0097_300	97.22	1,446	5.0 ㎡
		CH0119_300	119.44	1,776	6.2 ㎡
		CH0138_300	138.89	2,065	7.2 ㎡
50 以上	フリー配線型	CH0016_000	16.67	248	0.9 ㎡以上
		CH0027_000	27.78	413	1.4 ㎡以上
		CH0038_000	38.89	578	2.0 ㎡以上
		CH0055_000	55.56	826	2.9 ㎡以上
		CH0075_000	75.00	1,115	3.9 ㎡以上
		CH0097_000	97.22	1,446	5.0 ㎡以上
		CH0119_000	119.44	1,776	6.2 ㎡以上
		CH0138_000	138.89	2,065	7.2 ㎡以上

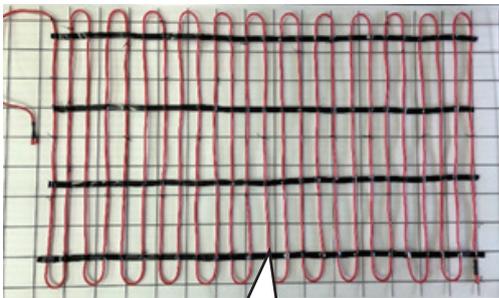
◆ 施工手順

1 断熱材を敷設します。3種30mm厚を推奨します。
また、防水仕様のものでご採用ください。

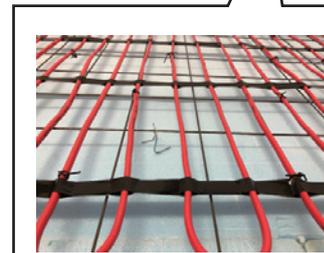
2 あらかじめ抑えコンクリート（捨てコン）を施工、
もしくは所定の高さのスペーサーブロックを
配置します。

3 写真①、②のように、ケーブルをワイヤーメッシュに
這わせ、バインド線などで固定します。

写真①



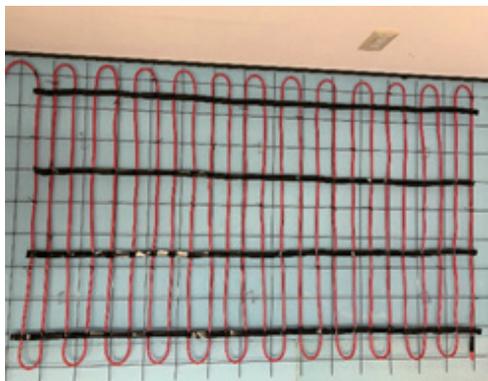
写真②



※バインド線は
固定後、下に
折り込んで
ください。

4 **3** で完成したものを設置します。このとき、
製品の口出し線はコンクリート面から出る
ようにしてください。

写真③



5 コンクリートを施工します。

6 配線工事を行います。
写真④の製品口出し線の差込み端子及び
ファストン端子に、それぞれ付属の電源線及び
アース線を接続します。

写真④



※必ず、電気工事士の有資格者が
おこなうようにしてください。

7 コンクリート乾燥後一度通電し、コンクリートに
クラックをいれます。(完成後のクラック防止)
※必ず割れるというものではありません。
クラック防止材も有効です。

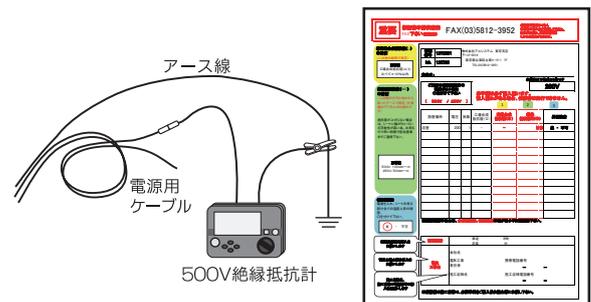
8 仕上げ(タイル)を施工します。

9 完工検査を行います。
製品の絶縁抵抗をメガー(絶縁抵抗計)DC500Vにて
計測してください。

※2次側配線の片側と対地(アース)間で計測

なお、測定しない側の2次側配線の芯線は絶縁
された状態を保持してください。

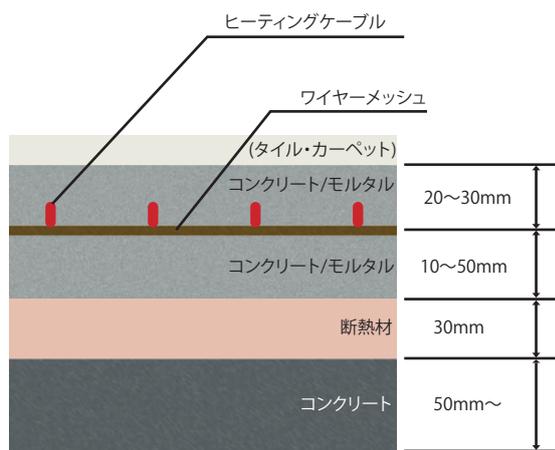
次に、昇温を確認していただき、双方の結果を
製品と同梱している「床暖房検査表」に記入の上、
当社宛にFAXにて、ご返送ください。



FAX

本 社 06-6310-6827
東京支店 03-6802-4847

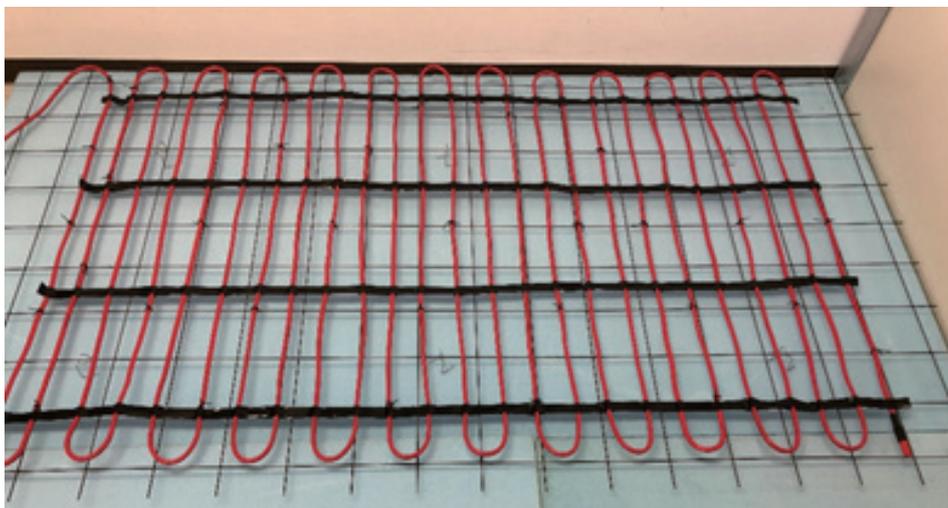
◆ 施工断面図（一例）



◆ ヒーターケーブル詳細図



◆ ヒーターケーブル敷設施工状況



床温は、主に室温及びコンクリート厚さに左右されます。コンクリート厚さが60mmの時、床温を30℃にしたい場合、室温20℃の場合は200W/m²、室温15℃の場合は250W/m²、室温10℃の場合は300W/m²のケーブル敷設が目安となります。融雪、ロードヒーティング等は別途検討する必要があります。

尚、微調整は、コントローラの通電制御により行います。

ケーブル発熱部分は、必ずコンクリート中に敷設するようにしてください。口出し線の途中からコンクリート上に出るようにしてください。尚、口出し線と発熱線の境界はケーブルに下図のような「→SPLICE←」の表示があります。

〈SPLICE表示〉



株式会社 アルシステム
<https://www.irsystem.co.jp>

本 社
〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-14-33 TCSビル6F
TEL 06-6310-6826 FAX 06-6310-6827
E-mail osaka@irsystem.jp
東京支店
〒110-0013 東京都台東区入谷1-2-3 K・Kビル3F
TEL 03-6802-4846 FAX 03-6802-4847